



## みんなのでできる 地球温暖化防止活動 — ESGに関心を持つ!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

### ■気候変動に具体的な対策を

「誰ひとり取り残さない」と謳うSDGs（持続可能な開発目標）13番目の目標は「気候変動とその影響に立ち向かうために、緊急対策をとる」です。2050年までは温室効果ガスを排出し続け、その後は実質ゼロにすれば良いということではありません。排出量の合計が地球温暖化に影響を与え続けるからです。

### ■ESG

SDGsを実現させるための3つの考え方、あるいは手法がESG（環境・社会・企業統治）です。SDGsが目標で、ESGは国民（お金の元々の保有者）、地域、団体（機関投資家）、企業、自治体、国の考え方、手法というわけです。ESG投資／経営といった場合、環境や社会の問題に取り組み、法令などをしっかり守っている企業に優先的に投資をするという考え方で、エシカル（倫理的）投資／経営です。

### ■お金の流れ

国民（労働者）は働くことで賃金を得、企業は利益を得ます。納税、社会保険、貯蓄などを通して、機関投資家といわれる銀行、生保・損保、年金基金にお金が集まります。機関投資家は、利益優先ではなくESG観点で投資先の企業を選び、国民や企業から預かったお金を運用します。公害のように地域社会に迷惑をかけ、労働環境が悪く不祥事が続くような企業には投資をしないという原則です。国連責任投資原則といいます。お金は国民のもので、その意味では、ESG予算という考え方も成り立ちます。

### ■みんなのでできる地球温暖化防止活動

世界最大の資産運用会社、ESG投資の旗振り役の米ブラックロックの運用資産は約1000兆円です。日本のGDPの約2倍です。お金は社会を変える力があります。一方で投資実績も求められます。コロナ禍や世界紛争などの影響で、目先の投資実績を優先する傾向が強くなっているといえます。そんな時だからこそ、ESG投資の真贋と未来が問われます。私たちのお金が、国の予算や機関投資家の運用という形で、どのように使われるのかに関心を持つことは、地球温暖化防止活動の一つでもあります。国民としての責任です。

(連絡先) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>